

知床の窓から見えるもの

2017年10月10日（火曜日）

「漁火祭り&秋祭り」

8月より島根県の松江市立病院から3ヶ月間の研修で診療所にきている看護師です。松江市立病院から、らうす診療所への短期研修派遣が始まって今年で3年目を迎えます。毎年、当院の研修報告会では、羅臼町医療の中核を担っているらうす診療所の医療現場の様子や、世界遺産である知床の豊かな自然が紹介されます。是非、行ってみたいと誰しもが心惹かれます。私も、その中の一人でした。研修派遣がスタートして3年目、研修に訪れたスタッフも6人目となりました。研修に訪れたスタッフからは「カヤックは楽しいですよ。」「自然がとっても素敵。」「トレッキング楽しいです。」などなど、経験した事、イベントや楽しい思い出など盛りだくさんの情報を話してくれます。そんな思い入れの大きい羅臼町とはどんな所だろう？と思いながら松江から来ました。羅臼町に来て2カ月、知床の大自然の素晴らしさに感動し、羅臼町住民の方々の優しい人柄にふれながら楽しい充実した研修生活をおくっています。

ここ羅臼町では、食欲の秋といわれるこの時期に沢山のお祭りがあります。9月23・24日には漁火祭り、10月1日には秋祭りが開催され、さっそく私も行ってきました。漁火まつりは、羅臼港で開催され、たくさんのテナントがあり漁港が活気づいていました。鮭も1匹まるごと販売されており、沢山の鮭が並んでいた事に驚きました。また、えびやホッケ、貝などを網で焼いて食べる事ができるブースやいくら丼の無料提供もあり、さすが、北海道だぁーと感動しました。

幌萌町で開催された秋祭りでは、羅臼町民の方々が作られた陶芸品や雑貨、漁協女性部のブースでは、昆布コロッケ・昆布ラーメン、ごっこ市では、地元ならではの、魚や貝、かまぼこ等が販売されました。特に手作りのかまぼこはとてもおいしかったです。ついつい、かわいい陶芸品や魚などたくさん買ってしまいました。ビンゴ大会なども行われ本当に楽しい時間を過ごしました。

後残り1か月ですが、羅臼町の豊かな自然を堪能しながら、らうす診療所勤務における貴重な経験を大切に、しっかり学んでいきたいと思えます。最後までどうぞよろしくお願いします。

